

キーの働き

システムを操作するためのキー

	タイプした行を入力する
+	コマンドの実行を中止する
+	次の行に続けてタイプする
	画面表示を一時停止する
	画面上のデータを印刷する
+	画面上のデータを大きく印刷する
+	画面に表示されたデータを逐次印刷する
+ +	DOSを再始動する

行データを編集、修正するためのキー

または	カーソルの左の文字を削除する
	タイプした行を取り消す
または	前回入力した行から一文字を復元する
	前回入力した行から次にタイプする文字まで復元する
	前回入力した行から残りの文字を復元する

第1版 1986年9月

このガイドは、装置の改良およびガイド自身の使い易さの向上のために適宜変更されることがあります。この変更は、改訂版の発行によりお知らせします。

Copyright IBM Corp. 1984, 1985, 1986

	テンプレートから次にタイプする文字まで削除する
	タイプ中の行をテンプレートに書き込む
	ファイル終わり文字を書き込む
	テンプレートから一文字を削除する
	テンプレートへの挿入を開始(終了)する

コマンドの入力形式の表記法

以下では、コマンドの入力形式に次の表記法を使います。

- 大文字で書かれた部分(キーワード)は、そのままの綴りでタイプしてください。大文字、小文字のどちらでも使えます。ただし、全角文字は使えません。
- ゴシック体の日本語または英小文字で書かれた項目(たとえばファイル名、d:)は、代わりに実際の値(たとえば実際のファイル名 TEXT、実際のドライブ指定子 A:)をタイプしてください。
- 大かっこ内の項目(たとえば[d:])は省略できます。タイプする場合は大かっこは除いて、中身だけ(たとえば A:)タイプしてください。
- 縦線で区切られた項目(たとえば ON|OFF)は、どれかを選んで(たとえば ON、OFF どちらか一方)タイプしてください。
- 省略記号(...)は直前の項目と同じ項目を繰り返しタイプできることを示します。
- 大かっこ([])を除きすべての記号は、そのとおりタイプしてください。たとえば、カンマ(,) 等号(=)、疑問符(?), コロン(:)、ハイフン(-) などで。
- パス名とファイル名を両方共指定するときは、[パス名][ファイル名[.ext]]と記されている場合も、パス名の直後に円記号(¥)を入れてください。

DOS コマンド

ドライブ名の割り当てを変える

[d:][パス名]ASSIGN [x=y[...]]

ファイルを読み取り専用にする

[d:][パス名]ATTRIB [+R][-R][+A][-A][d:][パス名]ファイル名[.ext]

ハード・ディスクをバックアップする

[d:][パス名]BACKUP [d:][パス名][ファイル名[.ext]] d:[S][M][A][D:yy-mm-dd]

コマンドの実行を中止し易くする

BREAK [ON|OFF]

現行ディレクトリーを変える

CHDIR [d:][パス名]
または
CD [d:][パス名]

ディスクの使用状況、障害状況を調べる

[d:][パス名]CHKDSK [d:][ファイル名[.ext]][/F[/V]]

画面上のデータを消去する

CLS

ファイルを比較する

[d:][パス名]COMP [d:][パス名][ファイル名[.ext]]
[d:][パス名][ファイル名[.ext]]

ファイルを複写、連結、転送する

COPY [/A]/B[d:][パス名¥]ファイル名[.ext]
[/A]/B[+][d:][パス名¥]ファイル名[.ext][A/B]... [d:][パス名][ファイル名[.ext]][/A/B]
[/V]

他のキーボード、ディスプレイを使用する

CTTY 装置名

日付を表示、設定する

DATE [yy-mm-dd]

どんなファイルがあるか調べる

DIR [d:][パス名][ファイル名[.ext]][/P[/W]]

ディスクを比較する

[d:][パス名]DISKCOMP [d:][d:][1]/8]

ディスクを複写する

キーの働き

システムを操作するためのキー

- ←** タイプした行を入力する
- 前面キー** + **Pause** コマンドの実行を中止する
- Ctrl** + **←** 次の行に続けてタイプする
- Pause** 画面表示を一時停止する
- ページ印刷** 画面上のデータを印刷する
- 前面キー** + **ページ印刷** 画面上のデータを大きく印刷する
- Ctrl** + **ページ印刷** 画面に表示されたデータを逐次印刷する
- Ctrl** + **前面キー** + **削除** DOSを再始動する

行データを編集、修正するためのキー

- 後退** または **←** カーソルの左の文字を削除する
- ESC** タイプした行を取り消す
- PF1** または **→** 前回入力した行から一文字を復元する
- PF2** 前回入力した行から次にタイプする文字まで復元する
- PF3** 前回入力した行から残りの文字を復元する

第1版 1986年9月

このガイドは、装置の改良およびガイド自身の使い易さの向上のために適宜変更されることがあります。この変更は、改訂版の発行によりお知らせします。

Copyright IBM Corp. 1984, 1985, 1986

- PF4** テンプレートから次にタイプする文字まで削除する
- PF5** タイプ中の行をテンプレートに書き込む
- PF6** ファイル終わり文字を書き込む
- 削除** テンプレートから一文字を削除する
- 挿入** テンプレートへの挿入を開始(終了)する

コマンドの入力形式の表記法

以下では、コマンドの入力形式に次の表記法を使います。

- 大文字で書かれた部分(キーワード)は、そのままの綴りでタイプしてください。大文字、小文字のどちらでも使えます。ただし、全角文字は使えません。
- ゴシック体の日本語または英小文字で書かれた項目(たとえば**ファイル名**, **d:**)は、代わりに実際の値(たとえば実際の**ファイル名 TEXT**, 実際の**ドライブ指定子 A:**)をタイプしてください。
- 大カッコ内の項目(たとえば**[d:]**)は省略できます。タイプする場合は大カッコは除いて、中身だけ(たとえば**A:**)タイプしてください。
- 縦線で区切られた項目(たとえば **ON|OFF**)は、どれかを選んで(たとえば **ON**, **OFF** どちらか一方)タイプしてください。
- 省略記号(...)は直前の項目と同じ項目を繰り返しタイプできることを示します。
- 大カッコ ([])を除きすべての記号は、そのとおりタイプしてください。たとえば、カンマ(,) 等号(=), 疑問符(?), コロン(:), ハイフン(-) などで。
- **パス名**と**ファイル名**を両方共指定するときは、**[パス名][ファイル名.ext]**と記されている場合も、**パス名**の直後に**円記号(¥)**を入れてください。

DOS コマンド

ドライブ名の割り当てを変える

[d:] [パス名]ASSIGN [x=y[...]]

ファイルを読み取り専用にする

[d:] [パス名]ATTRIB [+R][-R][+A][-A][d:] [パス名]ファイル名[.ext]

ハード・ディスクをバックアップする

[d:] [パス名]BACKUP [d:] [パス名][ファイル名[.ext]] d:[S][M][A][D]:yy-mm-dd

コマンドの実行を中止し易くする

BREAK [ON|OFF]

現行ディレクトリーを変える

CHDIR [d:] [パス名]
または
CD [d:] [パス名]

ディスクの使用状況、障害状況を調べる

[d:] [パス名]CHKDSK [d:] [ファイル名[.ext]][/F][/V]

画面上のデータを消去する

CLS

ファイルを比較する

[d:] [パス名]COMP [d:] [パス名][ファイル名[.ext]] [d:] [パス名][ファイル名[.ext]]

ファイルを複写、連結、転送する

COPY [/A]/B [d:] [パス名¥]ファイル名[.ext]] [/A]/B [+ [d:] [パス名¥]ファイル名[.ext]] [/A]/B]... [d:] [パス名][ファイル名[.ext]][/A]/B [/V]

他のキーボード、ディスプレイを使用する

CTTY 装置名

日付を表示、設定する

DATE [yy-mm-dd]

どんなファイルがあるか調べる

DIR [d:] [パス名][ファイル名[.ext]][/P][/W]

ディスクを比較する

[d:] [パス名]DISKCOMP [d:] [d:] [1][8]

ディスクを複写する

[d:][パス名]DISKCOPY [d:][d:][1]

ファイルを削除する

ERASE [d:][パス名][ファイル名[.ext]]

または

DEL [d:][パス名][ファイル名[.ext]]

プログラムのロードを速くする

[d:][パス名]EXE2BIN [d:][パス名¥]ファイル名[.ext] [d:][パス名][ファイル名[.ext]]

第2のコマンド処理プログラムを終了する

EXIT

特定の文字列を捜す

[d:][パス名]FIND [/V][C][N]文字列 [d:][パス名¥]ファイル名[.ext]...

新しいディスクを使用できるようにする

[d:][パス名]FORMAT [d:][V][S][9][1][4]

ドライブを他のドライブのディレクトリーに連結する

[d:][パス名]JOIN [d: d:¥ディレクトリー][D]

ディスクにボリューム・ラベルを付ける

[d:][パス名]LABEL [d:][ボリューム・ラベル]

サブ・ディレクトリーを作成する

MKDIR [d:]パス名

または

MD [d:]パス名

プリンターの1行の文字数, 1インチの行数, 印刷速度を変える。

[d:][パス名]MODE LPT#: [132|158|176|198], [4|5|6|7], [D|N], U, B]]

ディスプレイのモード, 表示方法を変える

[d:][パス名]MODE モード [, [輝度][, 罫線]]

モードは,

0 単色文字

1 単色グラフィック

2 360 × 512 カラー・グラフィック

3 カラー文字

4 カラー・グラフィック

罫線の色は,

0 黒 8 灰色

1 青 9 薄い青

2 緑 10 薄い緑

3 水色 11 薄い水色

4 赤 12 薄い赤

5 紫 13 薄い紫

6 黄 14 薄い黄

7 白 15 明るい白

ASYNC 通信カードのデータ伝送速度などを変える

[d:][パス名]MODE COMn: ボーレート[, パリティ[, データビット[, ストップビット[, P]]]]

プリンターへのデータを ASYNC 通信カードへ送る

[d:][パス名]MODE #:=COMn

大量の画面表示を一画面ずつ行う

[d:][パス名]MORE

現行ディレクトリー以外にある外部コマンドを実行する

PATH [[d:]パス名[[d:]パス名...]]

ファイルの内容を印刷する

[d:][パス名]PRINT [/D: 装置][B: バッファ・サイズ][U: 使用中待ち][M: 印刷時間][S: タイム・スライス][Q: 待ち行列サイズ][d:][ファイル名[.ext]][T][C][P]...

DOS プロンプトを変える

PROMPT [プロンプト]

障害のあるファイルを回復する

[d:][パス名]RECOVER [d:][パス名¥]ファイル名[.ext]

または

RECOVER d:

ファイル名を変える

REN[AME] [d:][パス名¥]ファイル名[.ext]

ファイル名[.ext]

選択的にファイルを複写する

[d:][パス名]REPLACE [d:][パス名]ファイル名[.ext]

[d:][パス名][A][P][R][S][W]

ハード・ディスクを復元する

[d:][パス名]RESTORE d:[d:][パス名][ファイル名[.ext]][S][P]

サブ・ディレクトリーを削除する

RMDIR [d:]パス名

または

RD [d:]パス名

プログラムに渡す環境を設定する

SET [名前]=[パラメーター]

ファイル共用機能をロードする

[d:][パス名]SHARE [/F: ファイル空間][L: ロック]

行を順に並べ直す

[d:][パス名]SORT [/R][+n]

ドライブまたはパスに別のドライブ名を付ける

[d:][パス名]SUBST [d: d:パス名][D]

システム・プログラムを切り換える

[d:][パス名]SWITCH

他のディスクで DOS を始動できるようにする

[d:][パス名]SYS d:

時刻を表示, 設定する

TIME [hh:mm]

ディスクにどんなディレクトリーがあるか調べる

[d:][パス名]TREE [d:][F]

ファイルの内容を見る

TYPE [d:][パス名¥]ファイル名[.ext]

DOS のバージョンを調べる

VER

ディスクに正しく書き込まれたことを逐次確認する

VERIFY [ON|OFF]

何のディスクか調べる

VOL [d:]

複数のファイルを選択的に複写する

[d:][パス名]XCOPY [d:][パス名][ファイル名[.ext]]

[d:][パス名][ファイル名[.ext]][A][D][E][M][P][S][V][W]

バッチ・コマンド

バッチ・ファイルを実行する

[d:][パス名]ファイル名[パラメーター 1[, パラメーター 2]...]

バッチ・ファイルの内容の表示を止める

ECHO [ON|OFF|メッセージ]

DOS コマンドを繰り返し実行する

FOR %%変数 IN (集合) DO コマンド

バッチ・ファイル中でコマンドの飛び越しをする

GOTO ラベル

条件が成り立ったときだけコマンドを実行する

IF [NOT][ERRORLEVEL 番号
|STRING 1==STRING 2
|EXIST ファイル指定]コマンド

一時停止してキーが押されるのを待つ

PAUSE [メッセージ]

バッチ・ファイル中に注釈を入れる

REM [メッセージ]

10 個以上のパラメーターを使う

SHIFT

EDLIN コマンド

未編集の行を記憶域へ読み取る

[n] A

行を複製する

[行], [行], 行, [カウント] C

行を削除する

[行], [行] D

既存の行を書き変える

[行]

作成、編集したファイルを保管する

E

新しい行を挿入する

[行] I

作成、編集中のファイルの内容を見る

[行], [行] L

行を移動する

[行], [行], 行 M

作成、編集中のファイルの内容を、次々に見る

[行], [行] P

作成、編集を中止する

Q

文字列を置き換える

[行], [行][?] R [文字列][PF6 文字列]

特定の文字列を見つける

[行], [行][?] S [文字列]

他のテキスト・ファイルの行を転送する

[行] T ファイル指定

作成、編集が終わった行を書き込む

[n] W

DEBUG コマンド

ニーモニックをアセンブルする

A [アドレス]

記憶域の内容を比較する

C 範囲 アドレス

記憶域の内容を表示する

D [アドレス|範囲]

記憶域の内容を書き変える

E アドレス [リスト]

記憶域の内容を埋める

F 範囲 リスト

(区切り点まで) 実行する

G [=アドレス][アドレス...]

16 進の加算、減算をする

H 値 値

ポートからバイトを入力して表示する

I ポート

ファイルまたはディスクの相対セクターをロードする

L [アドレス[ドライブ セクター セクター数]]

ドライブは、A が 0, B が 1, C が 2...

記憶域の内容を移動する



日本アイ・ビー・エム株式会社

東京都港区六本木3-2-12 〒106

TEL(03)586-1111 (代)

M 範囲 アドレス

ファイル名およびパラメーターを指定する

N ファイル指定[ファイル指定...]

ポートへバイトを出力する

O ポート バイト

プロシージャーを実行する

P [=アドレス]

DEBUG プログラムを終了する

Q

レジスター、フラグを表示する

R [レジスター名]

記憶域のデータを探索する

S 範囲 リスト

指定した命令数だけ実行する

T [=アドレス][値]

命令を逆アセンブルする

U [アドレス]範囲]

ファイルまたはディスクの相対セクターへ書き込む

W [アドレス[ドライブ セクター セクター数]]

ドライブは、A が 0, B が 1, C が 2...

CONFIG.SYS コマンド

BREAK を ON または OFF に設定する

BREAK=[ON|OFF]

DOS が割り振るバッファの数を設定する

BUFFERS=x

各国の日付と時刻の形式を指定する

COUNTRY=xxx]

装置駆動ルーチンを導入する

DEVICE=[d:][パス名]ファイル名[.ext]

並行してオープンできる制御ブロックの数を設定する

FCBS=m, n

並行してオープンできるファイルの最大数を設定する

FILES=x

アクセスできるドライブの最大数を設定する

LASTDRIVE=x

トップレベルのコマンド処理プログラムをロードする

SHELL=[d:][パス名]ファイル名[.ext][パラメーター
1][パラメーター 1]

IBMマルチステーション
5550

日本語DOS
クイックガイド

バージョンK3.2

N: SX18-2199-0